

地域ネットワークだより

宇宙を活かした地域おこし!

H3ロケット打上げ応援ツアー初開催

宇宙に関連するものを観光資源とした観光振興は「宙(そら)ツーリズム®」※としていま大きく注目されています。全国で唯一2つのロケット打上げ施設を持つ鹿児島県の特性をいかそうと、MBCでは「H3ロケット3号機打上げ応援ツアー」を㈱日本旅行と共に初めて実施しました。

東京や神奈川、兵庫、和歌山など全国から約20人のロケットファンが種子島に集まりました。一行は打上げを控えた種子島宇宙センターを見学し、MBCの元ロケット担当記者による「特別宇宙教室」に参加しました。

天候不良のため、打上げは当初の予定から1日延期(7月1日打上げ成功)となりましたが、参加者にとってはこうしたハプニングも含め、宇宙を身近に感じることのできる3日間となったようです。

このツアーの様子は、7月17日(水)よる7時からの「てげてげ」でご紹介しました。

(※宙ツーリズムは(一社)宙ツーリズム推進協議会の登録商標です)



▲MBCの元ロケット担当記者による特別宇宙教室

◀ロケットアナウンサー岩崎全智アナと記念撮影



桜島や双剣石も!

動き出す浮世絵展

開幕

『イマーシブ体感!動き出す浮世絵展』が7月19日から県歴史・美術センター黎明館で始まりました。葛飾北斎や歌川広重など世界的な浮世絵師の作品300点以上が、最新のデジタル技術でデジタルアート作品としてダイナミックに躍動する期間限定のイマーシブ(没入型)展覧会です。

西日本初開催のこのイベントをANA客室乗務員でMBCで兼業で働いている西原亜希子さんが一足早く体感しました。



浮世絵の世界へのゲートをくぐると...

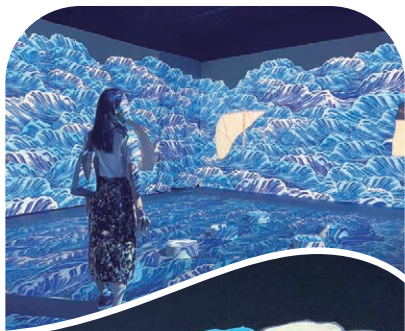


海外のお客様が浮世絵デザインのシャツを着ている姿をよく拝見するので、浮世絵は海外の方にも人気なんだなあと常々実感しています。今年の4~6月にはイタリア・ミラノでも開催され、大変好評だったそうです。

西洋画家にも影響を与えたその美しさで、世界を魅了する日本ならではの「藍色」の世界。

海外の方からも大変人気で、「ジャパンブルー」として世界から賞賛されています。

江戸時代の作品と現代の最先端技術が融合されて、浮世絵師たちの思いをダイナミックに表現しています。



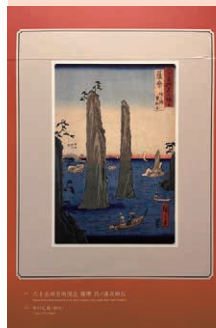
鹿児島ゆかりの作品も紹介されています。

この左右の写真は歌川広重の同じ浮世絵を映し出していますが、右の方は現代の技術でより鮮やかに表現しています。



こちらは桜島、高隅山と錦江湾を描いた作品、動きや光のうつろいを是非会場で体感ください!

ずっと見ていても飽きない美しさ。見れば見るほど新しい発見があり、見惚れてしまいます。



歌川広重作
「薩摩坊ノ浦双剣石」
(南さつま市坊津)



お客様からは「地元の桜島を描いてくれて嬉しい。新しい発見があつて勉強になりました。」や「こんなに写真を撮るとは思ってなかった!満喫できました!」と嬉しいお声をいただき、幅広い年齢層の方に楽しんでいただいているようでした。

日本の伝統美と最先端の映像技術のコラボレーション。小さなお子様からご年配の方まで夢中になれる“イマーシブ”体験をぜひ会場で!

浮世絵について楽しく学べるので、子どもさんの自由研究や課題にもおすすめです。

『動き出す浮世絵展』は、9/1まで
県歴史・美術センター黎明館で開催中です。

新生鹿児島市誕生20年 × MBC

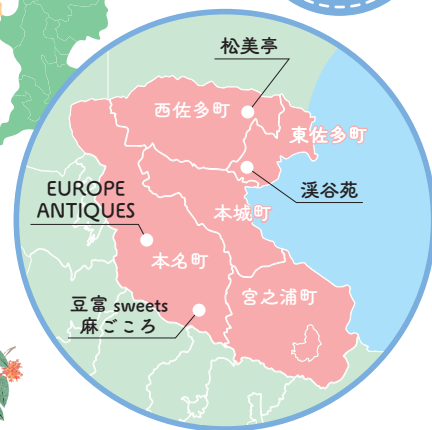
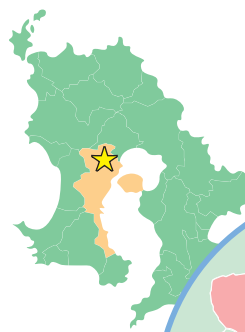
5地域を玉谷アナがめぐる!

たまさんぽ

MBCでは鹿児島市と協力し、11月に合併20年を迎える吉田・桜島・喜入・松元・郡山地域の魅力を発信しています。今月は鹿児島市北部の吉田地域を巡りました。

第二弾

吉田



名水の里・吉田。涼を感じるスポットにて
@溪谷苑

古民家を改装した人気の食事処「松美亭(しょうびてい)」へ。吉田地域の新鮮な食材とおかあさんの人情をたっぷり味わうことができます。



ヨーロッパの風を感じるショップ
EUROPE ANTIQUES.



「吉田のナポレオン」と
ティータイム!?



吉田・桜島・喜入・松元・郡山 /
◎ #ここかごフォトコンテスト
～新生鹿児島市誕生20年～

#ここかごフォトコンテスト作品募集中

〈テーマ〉今年11月に合併20年を迎える
5地域(吉田・桜島・喜入・松元・郡山)

の食や自然などの魅力

申込期限・・・8月31日



豆富sweets麻ごころ

「吉田をたまさんぽ」は7月18日の「かごしま4」でお伝えしました。来月以降、桜島、松元、郡山を巡ります。喜入編、吉田編はMBCの公式YouTubeで見ることができます。

6月放送「喜入をたまさんぽ」



取材の様様や
吉田地域の情報は



@kagoshima_yoshida



@cocokago_official

新年の女王めざして 県地区対抗女子駅伝監督会議



第38回鹿児島県地区対抗女子駅伝の合同運営委員会が7月2日MBCで開かれました。次回は来年1月26日(日)霧島路を舞台に、県内12地区の女性ランナーが6区間で健脚を競います。今年度から出走メンバーについて、大会ルールが大幅に変更されることになりました！

- ・中学生がこれまで各チーム最大2名までが、3名まで出走可能に
- ・実業団チーム所属の選手の出走は各チーム1名以内に限定

これにより各チームの戦術が変わる可能性があり、総合優勝はじめ各クラスの優勝争いも大きく変化が生じることが予想されます。

新春の霧島路を駆ける新生「かごしま女子駅伝」にどうぞご期待ください！

日置チーム



たに ぐち いさお
谷口 功 監督
＜県教育庁保健体育課＞

「順位もですが、地域の方に愛されるチームにしたいですね…」と、同級生から監督を引き継いだ谷口監督。「すでにチーム練習はスタートしていて、一般選手の頑張りが楽しみです！注目を集める県下一周駅伝チームをお手本に、地域のランニングイベントや子どもたちの持久走大会にも参加していきたいです！」と話してくれました。

新任監督の 意気込み！

今年度は、5つの地区で
監督が交代！
就任 & 新シーズンへの
思いを聞きました。

指宿チーム



にい はら ひろ き
新原 大樹 監督
＜いぶすきスポーツクラブ＞

「これまでは「協力員」という形で関わっていましたが、監督就任で、一層、選手一人ひとりの動きを細やかにチェックするようになりました」と真剣な眼差し。「力を入れてきたジュニア層のボトムアップが、高校生ランナーの確保や結果につながりつつあり…オープン参加も経験した苦しい時期を乗り越えて、指宿チームがリスタートします！」

川辺チーム



いま いれ かず き
今給黎 一材 監督
＜南さつま市消防本部＞

これまではコーチとして携わっていた女子駅伝で、監督に就任。今年度のチームについて「高校生の軸となる鳳凰勢と、成長してきた中学生たちが勢いを付けてくれそう」と、手ごたえを語ります。でも、本当の強さの秘密は…「チーム全体でコミュニケーションをとって、仲のいいチームになりそう。8月のバーベキューパーティー(栄養会)で、さらに1つになります」

川薩チーム



みや わき ゆ み
宮脇 由美 監督
＜さつま町立鶴田小学校＞

就任の感想を伺うと、「この駅伝には色々な形で、長く携わっていますが、監督となるとドキドキします(汗)」と、はにかんだ笑顔を見せるも、すぐに、「今年のチームの強みは、社会人メンバーです。声を掛け合いながら色々な大会に出場して、競技力向上を目指すなど、本当に心強いメンバーで、誇りに思っています」とコメントしました。そんな宮脇監督は、今年のキーワードに「つながり」を挙げています！

曽於チーム



すず き たい いち
鈴木 泰一 監督
＜志布志市教育委員会＞

「1からのスタートですから…」と笑顔で話しつつも、「内規変更で中学生が多く走れるというのは、チームにとって追い風です。早速スタッフに共有して選手を集め5年後につながるようなチームを作って行きたい」と、会議直後に選手構成と育成プランをイメージ。そんな監督からはこのような情報が…「実は、地元出身監督は「初！」と聞いているので、かなりプレッシャーです」3回目の総合優勝を目指して、曽於チームの活躍に期待です。

